

茨城の銘石  
made in ibaraki

# 真壁石

やすらぎを生む美しさ  
墓石日本一の逸品

茨城の銘石  
made in ibaraki

長い歴史を誇る伝統的名産品  
【常陸の御影石】  
茨城県石材業協同組合連合会

## 【真壁石】

常陸三山の懷に眠る硬質で堅牢な石、それが真壁石です。  
日本の代表的な御影石としてその歴史は古く、  
鎌倉時代より古碑、五輪塔、仏石などに用いられ、  
江戸期には多くの専門的石工が輩出しました。  
そして現代へとその伝統は受け継がれ、  
「真壁石燈籠」は国の伝統的工芸品にも指定されています。  
格調の高さとやすらぎのある美しさゆえに、  
墓石の生産量日本一を誇る銘石として知られています。

M A K A B E I S H I





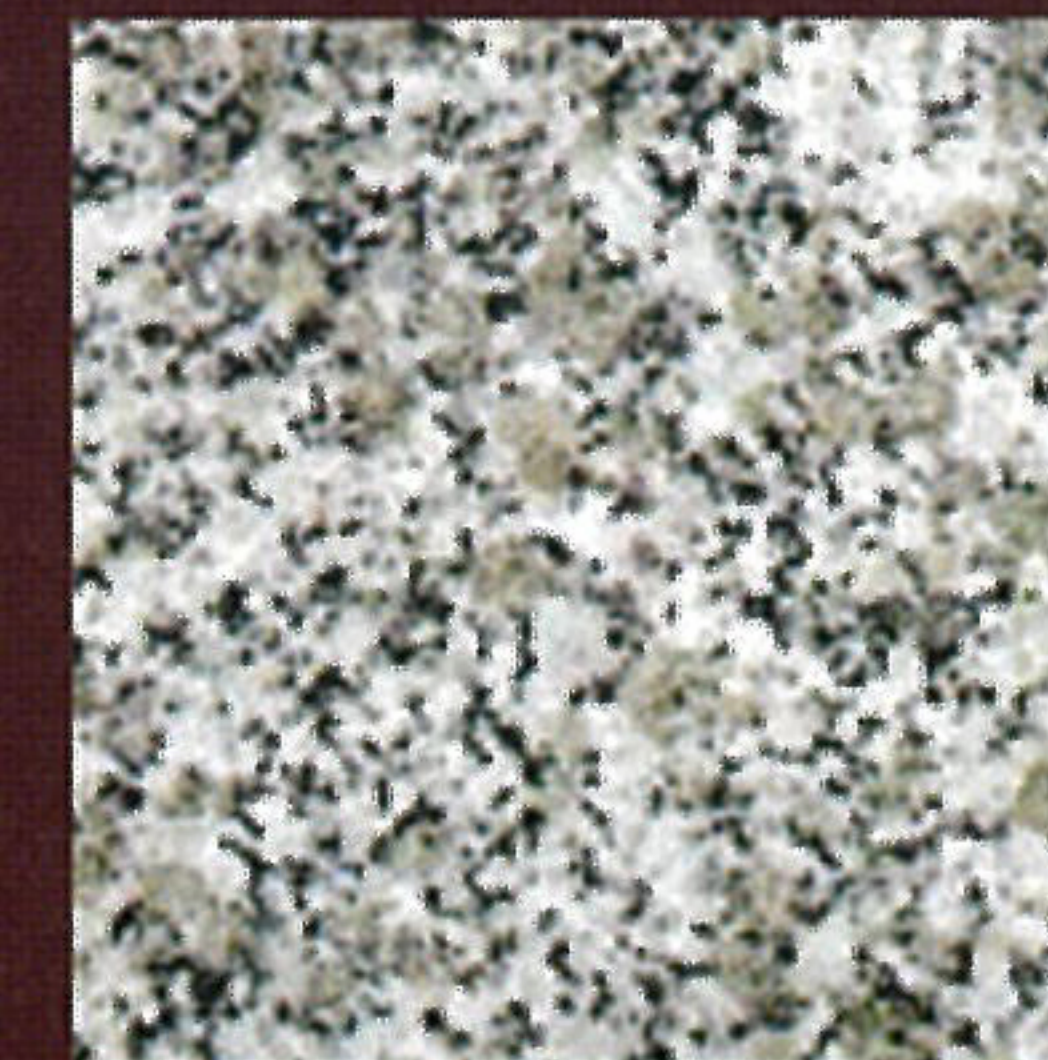
◎墓石



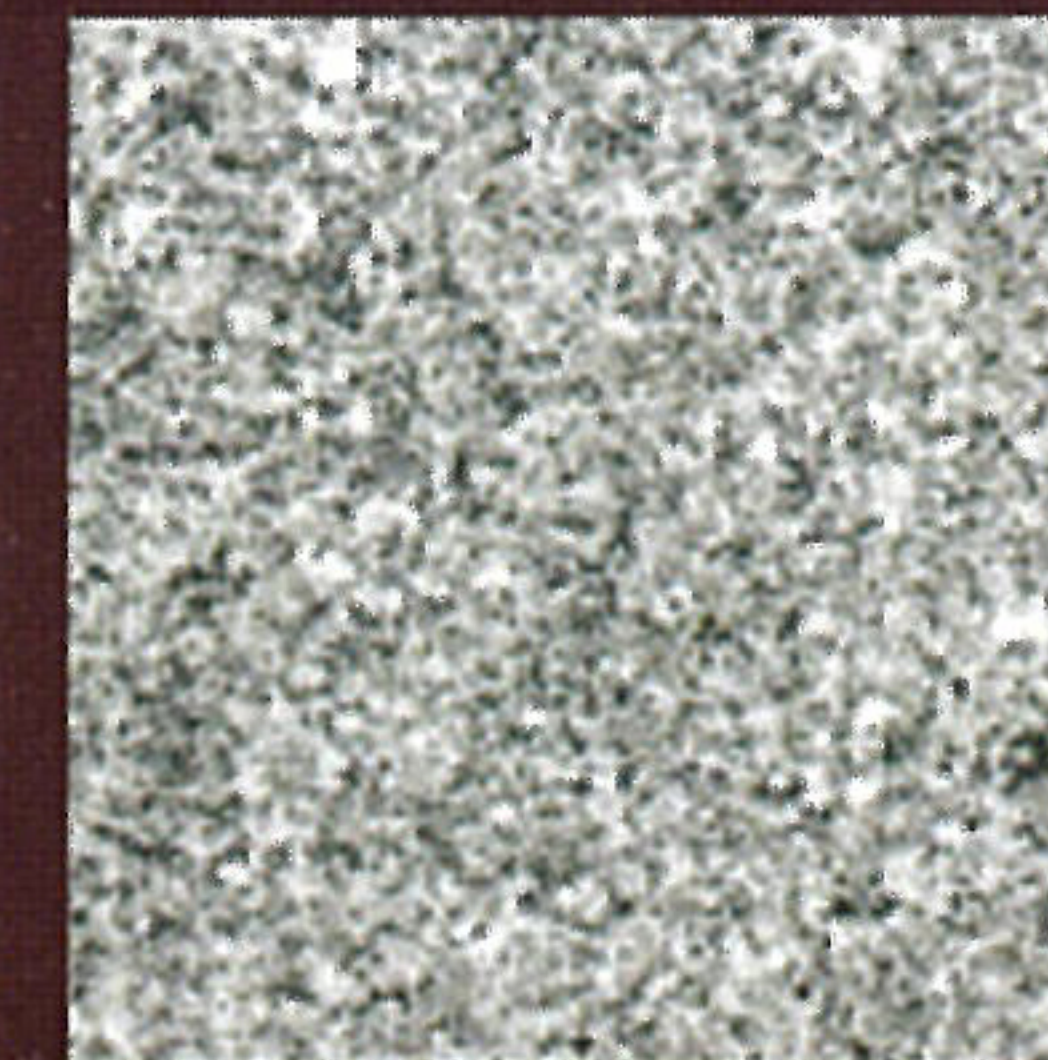
◎現代建築／迎賓館赤坂離宮

## 【代表作】

真壁石は、古き時代より現代まで、石英、長石、雲母などの放つ神秘の光と、硬度や耐久性などの優れた石質により、幅広い用途に利用されています。



中目石



小目石

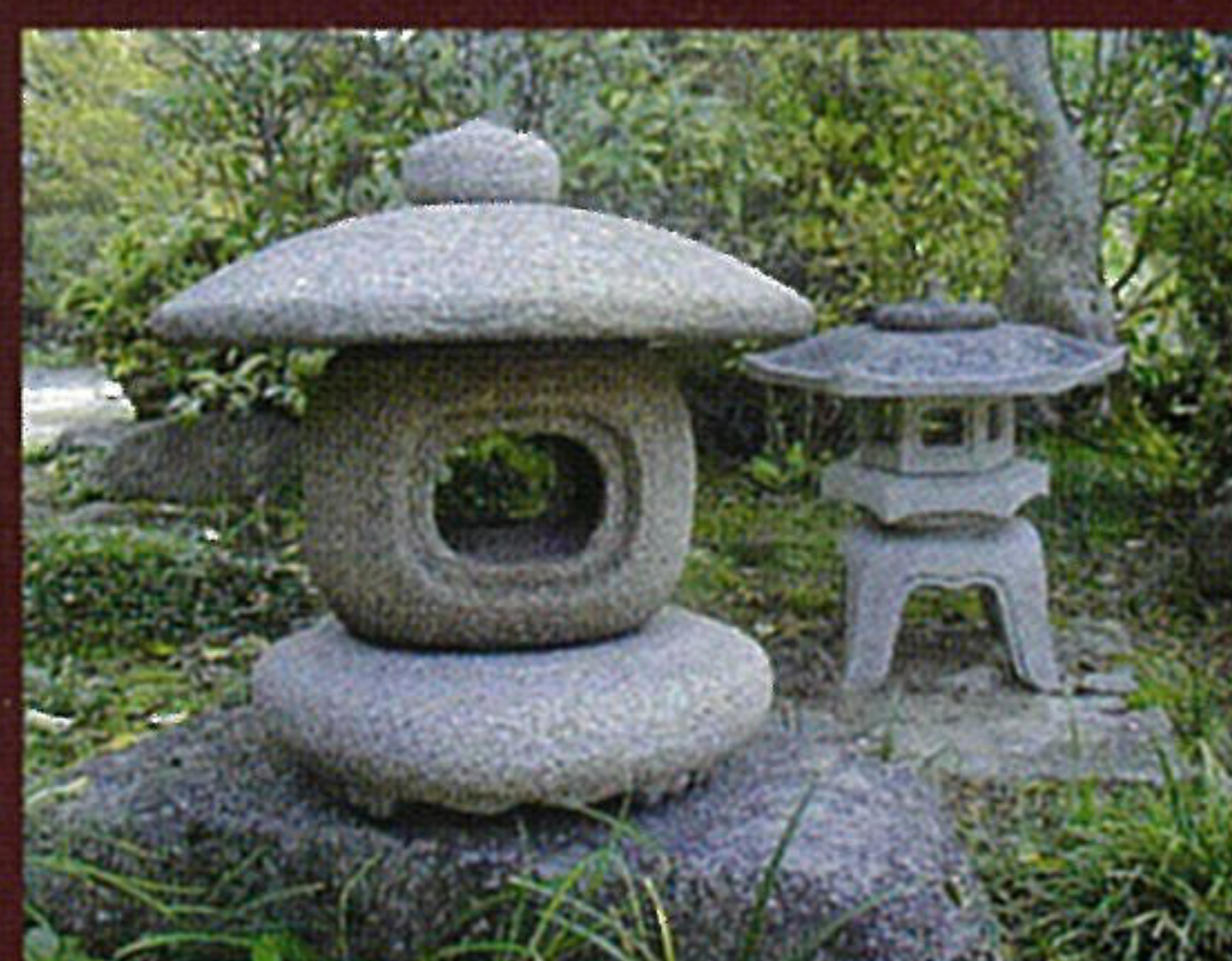
## 【真壁石の特徴】

茨城県西部に位置する常陸三山（筑波山・加波山・足尾山）。その懐にはおよそ六〇万年前にできた花崗岩体が広がり、真壁石はここより産出される堅牢・美麗な御影石です。日本随一の御影石産地として知られ、「こみかげ石」「常陸こみかげ石」とも呼ばれています。良質な御影石は、長い歴史に培われた伝統の技術と最先端の機器を融合し、さまざまな石造物に利用されています。

## 【真壁石の歴史】

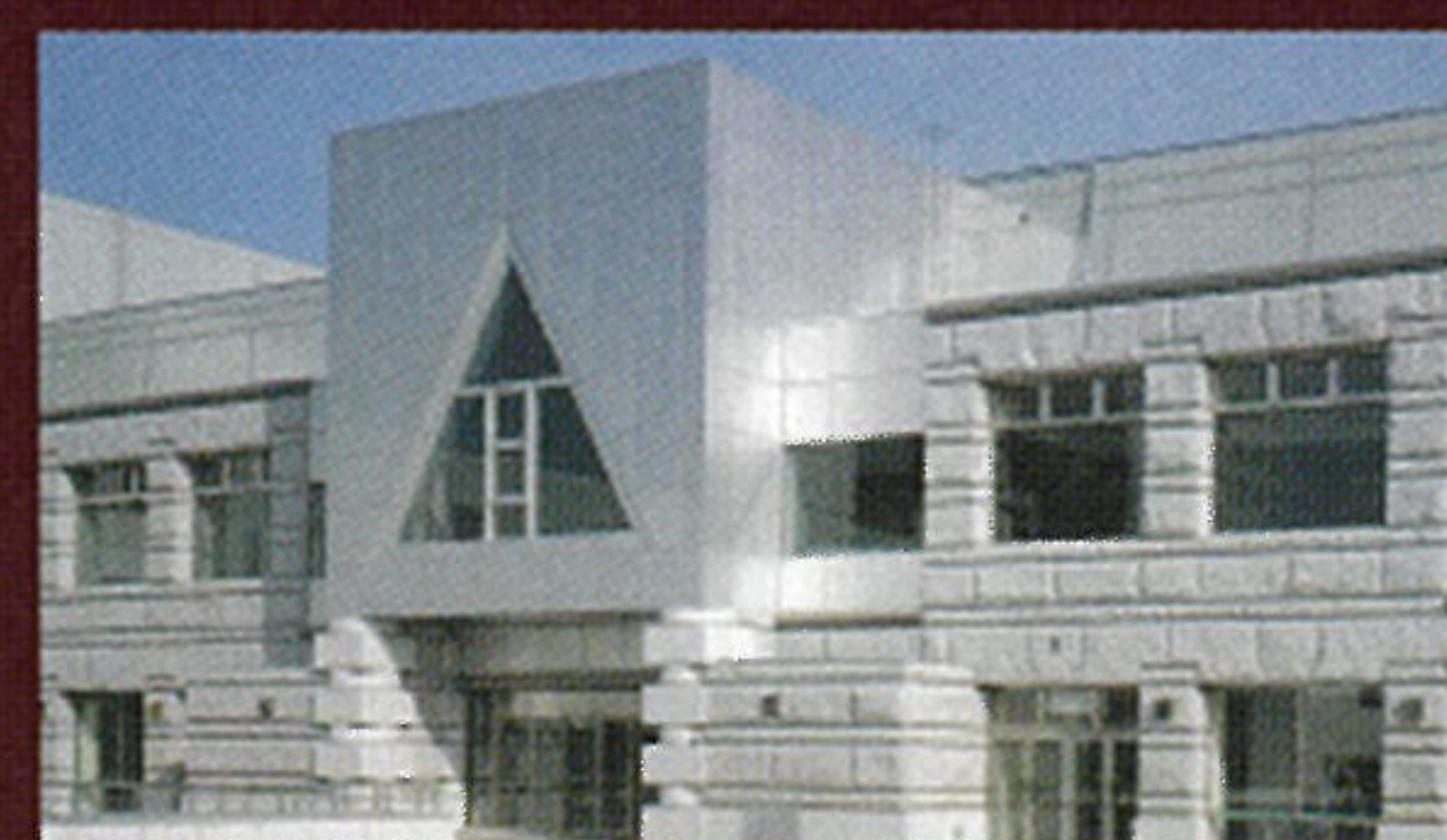
鎌倉時代より常陸三山の麓で石材業が始まり、とくに江戸の庶民文化の興隆により城郭や神社、仏閣、墓石、美術工芸品などへ真壁石の利用が広がりました。その後、消費地に近い立地を生かし、生産力、流通力を高め、今では日本屈指の御影石の産地に発展しています。伝統の技術は多くの名工により継承され、「真壁石燈籠」は平成七年に国の伝統的工芸品に指定されました。

## 伝統的工芸品国指定 「真壁石燈籠」



「真壁石燈籠」は、以下の5つの条件を満たし、平成7年に経済産業大臣指定伝統工芸品の指定を受けました。

1. 100年以上前から続いている技術・技法を用いている
2. 原材料も昔と同じものを使用
3. 長い年月をかけて培った職人の技が作り上げたもの
4. 現在もなお日常生活に使用されている製品である
5. 一定の地域に生産する人が集まっている



◎現代建築／つくばセンタービル



◎現代建築／皇居前広場  
楠木正成像台座



◎歴史的建造物／伝正寺  
浅野長勲・綱子夫妻 石像



◎モニュメント／大洗アクアワールド

